

令和4年度 サマーコミュニケーションスクールを実施しました!

R4.8.9(火)、今年度は午前中がオンラインでの学習会、午後は児童生徒のみでしたが来校してもらい、対面での交流会を行うことが出来ました。オンラインと対面、どちらの良い所も活かして実施することができ、参加してくださった方からも素敵な感想をいただきました。以下、サマコミの様子をお知らせいたします。

来年はどんな方法で実施できるか今はまだ分かりませんが、ぜひ来年のサマコミもお楽しみに♪皆様のご参加を今からお待ちしております!

<サマコミ午前：オンライン学習会>

大学生に講師をお願いし、①大学受験について②大学での授業について③大学生活について④英語について⑤進路について⑥中学校から高校、大学時代を振り返って変化したことについて、の6つの大きなテーマでお話を伺いました。

①大学受験について

配慮申請をしていたが、当日準備がなかったのでびっくり!申請をしても事前に確認すると良い。

②大学での授業について

コロナ禍でオンライン授業になった。チャットが使えたり、顔や口元が見えたりして授業が分かりやすい。動画に字幕を付けてもらった。

③大学生活について

- ・友達とはUDトークを使っている。筆談や手話も使っている。
- ・一人暮らしが楽しい!でも、公共サービスは電話連絡が必要で困る..。

④英語について

英語は苦手。リスニングは免除、リスニング練習はスクリプトで実施。大学のリスニングの講義は、ノートイクで文字情報にしてもらった。全ての単語はルビを教科書に書いた。

「頑張れば聞こえる」というわけではないです。

⑤進路について

- ・一般雇用と障害者雇用、どちらも受けた。
- ・大学受験よりも就職活動の方が大変だった。就活では自分の学生生活で頑張ったことや入社後に何ができるのか問われるから。

自分がやりたいことが何か、やれることは何かを伝えることが大切!

⑥中、高時代を振り返って

中学まではろう学校、高校時代は、聞こえないのが自分だけだった。大学入試の際に自己PR文を書くために自分を振り返ったこと、手話が言語であることを知り、ろう者であることへ誇りを感じるようになった。

聞こえないことを卑下するような考え方はなくなった。

<参加者の感想：いただいた感想のほんの一部をご紹介します>

聾者について知らないことが多かったので、大学や受験、就活などについてたくさんのお話を聞くことができ、とても参考になりました。

ろう学校を離れてからの支援が具体的に聞いて大変参考になりました。

～講師の方より～

様々なサービスやシステムを使っていて、それを自らの必要性や場面に応じながら選択できていることが本当に素晴らしいと感動しました。

短い時間の中で、どれだけ参加者の皆様を知りたいことを伝えられるか、と思っていたのですが感想を見る限り、少しばかり力になれたのかなと嬉しい気持ちです。



<サマコミ午後：交流会様子・感想>

午後は小学生7名、中学生3名、通級中学生4名で実施しました。全体レクは「私は誰でしょう」ゲーム。ちょっと難しい様子もありましたが、どんな質問をすれば自分が欲しいヒントが貰えるか考え、上手に質問をしていました。初めて同士でも、ゲームを通して会話ができ、和やかな雰囲気になりました。



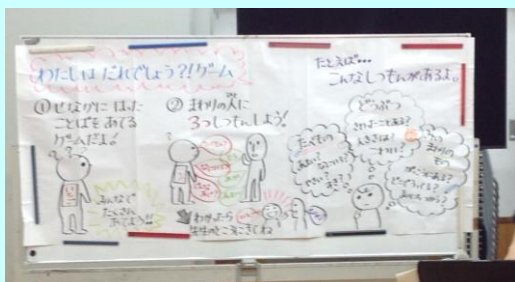
通級生が司会・レクの説明をします。



このくらい
の大きさ!

【プログラム】

- 14:00 集合
(正面玄関→多目的ホール)
- 14:30 開会式、全体レク
- 15:00 グループ別レク・情報交換
- 16:10 閉会式
- 16:30 終了、参加者解散。



- A「これは赤い果物ですか？」
- B「違います。」
- A「これは赤い野菜ですか？」
- B「そうです！」
- A「・・・トマトだ!!」
- B「正解♪」

<小学生グループ>

レク「ジャスチャーゲーム」情報交換「〇×ゲーム」



<小高+中学生グループ>

レク「はあっていうゲーム」情報交換「〇×ゲーム」



<参加者の感想（小学生）>

- ・(来年は) ドッチボールがやりたい!
- ・おにごっこがやりたい!
- ・こうえんいきたい!
- ・みんなとかに会えてうれしかったです。
- ・たのしかった!
- ・なかよくなって良かった。



<参加者の感想（小高+中学生）>

- ・なるほどって思うことがたくさんあった。
- ・雨の時の対処方法、みんなえらいな。
- ・自分以外にも補聴器や人工内耳をしている人がいると知って安心した。
- ・リスニングの時どうしてるかの答えが勉強になった。
- ・新しい方法を知ることができて良かった。
- ・近くに耳の聞こえが悪い人がいないから話を聞くことができて良かった。
- ・意外と共感できることがあった。もっと話してみたいと思った。